

U-18 フットサルリーグ チャンピオンズカップ 2017

＜報告書＞

大会を終えて－ここがスタート！

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚義実

ノックアウト方式のカップ戦がスポーツの普及に貢献し、総当たり方式のリーグ戦が日常化に貢献することは、国内外の様々な事例からみることができます。サッカーの母国イングランドにおいて、フットボールのルールが統一されてFAができたのは1863年ですが、爆発的に広まったのは1871年のFAカップ創設がきっかけです。この大会によってFAルールのフットボール(すなわちサッカー)が英国中、さらに世界中に広がっていくのです。しかしフットボールが日常生活の一部となったのは1888年のフットボールリーグ創設でした。ホーム＆アウェイのゲーム環境によって、選手やチームだけでなく地域でくらす人々にとって、フットボールが日常生活の一部となっていたのです。

「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」を“志”に掲げるNPO法人サロン2002は、サッカーをはじめとするスポーツが日常生活の一部となり、人々のくらしに欠かせない文化として定着することを心より願っています。全国各地の同志が連携しながらそれぞれの現場で、あるいは法人の主催・共催事業の形で“志”を実現しようと試みています。本事業は“志”の実現のためにtotoの助成を得て実現しました。年度途中の追加助成確定が11月でしたので、そこからの本格的な始動です。JFFはもちろん、地元の東海FA・FF、静岡県FA・FFなど、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけしました。それでも、今大会の意義に賛同してチームを派遣して下さった8都府県リーグ関係者や静岡県FAフットサル委員会の方々の全面的なご支援により、すばらしい大会になったことを大変うれしく思います。心より感謝申し上げます。

日本のユース年代のスポーツは、高校野球に代表される、長期休暇中のカップ戦が中心でした。しかし高校生年代の生活とスポーツ活動をバランスよく両立させていくためには、リーグシステムは不可欠です。サッカーにおいては徐々に整備されていますが、すそ野が広がったフットサルもまた、レベル別・地域ごとのリーグ環境を整えていく時期に来ていると言えるでしょう。リーグ戦は、誰かが運営してくれるのではなく、当事者による自主運営、すなわち「あなた自身」が担い手なのです。

全国各地にU-18フットサルリーグが育ち、日常的なフットサル環境が整ったとき、今大会が成功したと言えるでしょう。その意味で、まさに「ここがスタート！」です。

私たちも“志”に沿って、皆さんの試みを応援し続けます。

カップ戦	リーグ戦
ノックアウト方式 (負ければ終わり)	総当たり方式 (負けても次がある)
短期間	長期間
シーズン中の単発イベント	シーズンそのものを形成
非日常的な活動	日常生活の一部
移動をともなう	生活圏で行われる
主催者が運営	当事者による自主運営

- ◆名 称 U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ2017
- ◆主 催 特定非営利活動法人サロン2002
- ◆主 管 一般財団法人静岡県サッカー協会フットサル委員会、静岡県フットサル連盟
- ◆後 援 一般財団法人日本フットサル連盟
- ◆協 賛 加茂商事株式会社、株式会社ジャパン・スポーツ・プロモーション、株式会社EN
- ◆期 日 2017年1月6日(金)～7日(土)
- ◆会 場 エコパアリーナ/エコバサブアリーナ

◆参加資格

- (1)一般財団法人日本フットサル連盟に加盟承認された単独チームであること。
- (2)第1項に所属する1998年4月2日以降に生まれた選手で男女を問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。

◆参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された8チームとする。

- (1)以下の2016年度のU-18リーグの優勝チーム。優勝チームが決定していない場合は、当該リーグが選出したチーム。
東京都、神奈川県、長野県、富山県、静岡県、大阪府、兵庫県、熊本県

◆大会形式

- (1)1次ラウンド：4チームずつ2グループに分けてリーグ戦を行う。順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- ①当該チーム内の対戦成績
 - ②当該チーム内の得失点差
 - ③当該チーム内の総得点数
 - ④グループ内での総得失点差
 - ⑤グループ内での総得点数
 - ⑥下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
- | | |
|----------------|-------|
| (ウ)警告1回 | 1ポイント |
| (イ)警告2回による退場1回 | 3ポイント |
| (ウ)退場1回 | 3ポイント |
| (ウ)警告1回に続く退場1回 | 4ポイント |
- ⑦抽選
- (2)2次ラウンド：各グループ1位チームと各グループ2位チームによる準決勝、決勝を行う。このほか、各グループ3位チーム同士、4位チーム同士の順位決定戦を行う。3位決定戦は行わない。

◆競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

◆競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1)ピッチ
原則として、40m×20m
- (2)ボール
試合球：MIKASA社製フットサル4号ボール
- (3)競技者の数
競技者の数：5名
交代要員の数：9名

- (ウ)シャツまたはジャージーには、参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (ウ)選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーのために用意される。
- (ウ)ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」という。）の「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。
- (ウ)ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (ウ)その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、一部は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。
- ②靴：フットサル用シューズのみ使用可能とする。ただし、本大会会場の利用規定により靴底の接地面が緑色、白色もしくは無色透明以外の色はノンマーキングシューズであっても使用できない場合がある。今年度の開催会場のエコパアリーナならびにエコバサブアリーナにおいては、カラーソールの使用を認める。
- ③ピブス：交代要員は、競技者と異なる色のピブスを着用しなければならない。

(6)試合時間

- 1次ラウンド：24分間（前後半各12分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（前半終了から後半開始まで）とする。
- 2次ラウンド：30分間（前後半各15分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは7分間（前半終了から後半開始まで）とする。

(7)試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

- ①1次ラウンド、順位決定戦：引き分け
- ②準決勝・決勝：PK方式により次回戦進出チームおよび優勝チームを決定する。PK方式に入るまえのインターバルは1分間とする。

◆懲罰

- (1)本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (2)本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3)前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回るとき、または本大会の終了のとき、警告の累積は消滅する。
- (4)その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

◆参加申込

- (1)1チームあたり26名（役員6名、選手20名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
- (2)前項の申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

◆電子選手証

各チームの登録選手は、日本協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

●1次ラウンド 2017 / 01 / 06 (金) エコパ・メインアリーナ <Aグループ>

チーム名	FO	龍谷	エン	宝塚	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	順位
FOOTBOZE FUTSAL U-18		8○0	3○2	10○0	9	3	3	0	0	21	2	19	1
龍谷富山高校	0●8		6○4	8○3	6	3	2	0	1	14	15	-1	2
エンフレンテ熊本U18	2●3	4●6		4△4	1	3	0	1	2	10	13	-3	3
宝塚フットサルクラブ U18	0●10	3●8	4△4		1	3	0	1	2	7	22	-15	3

1	13:00	FOOTBOZE FUTSAL U-18	8 - 0	龍谷富山高校
1	13:00	宝塚フットサルクラブ U18	4 - 4	エンフレンテ熊本U18
2	15:20	FOOTBOZE FUTSAL U-18	10 - 0	宝塚フットサルクラブ U18
2	15:20	龍谷富山高校	6 - 4	エンフレンテ熊本U18
3	17:40	FOOTBOZE FUTSAL U-18	3 - 2	エンフレンテ熊本U18
3	17:40	龍谷富山高校	8 - 3	宝塚フットサルクラブ U18

<Bグループ>

チーム名	PS	He	アリ	日本	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	順位
PSTCロンドリーナ U-18		3○2	0△0	4○2	7	3	2	1	0	7	4	3	1
HeroFC U18F	2●3		3○1	9○1	6	3	2	0	1	14	5	9	2
アリアンサ フットサルクラブ	0△0	1●3		8○3	4	3	1	1	1	9	6	3	3
日本ウェルネス高等学校 信州筑北	2●4	1●9	3●8		0	3	0	0	3	6	21	-15	4

1	14:10	PSTCロンドリーナ U-18	4 - 2	日本ウェルネス高等学校 信州筑北
1	14:10	HeroFC U18F	3 - 1	アリアンサ フットサルクラブ
2	16:35	PSTCロンドリーナ U-18	3 - 2	HeroFC U18F
2	16:35	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	3 - 8	アリアンサ フットサルクラブ
3	18:50	PSTCロンドリーナ U-18	0 - 0	アリアンサ フットサルクラブ
3	18:50	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	1 - 9	HeroFC U18F

●2次ラウンド 2017 / 01 / 06 (金) エコパ・サブアリーナ

7/8位決定戦	12:10	宝塚フットサルクラブ U18	5 - 4	日本ウェルネス高等学校 信州筑北
5/6位決定戦	13:30	エンフレンテ熊本U18	4 - 9	アリアンサ フットサルクラブ
準決勝	9:30	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4 - 5	HeroFC U18F
準決勝	10:55	PSTCロンドリーナ U-18	8 - 0	龍谷富山高校
決勝戦	15:00	HeroFC U18F	2 - 0	PSTCロンドリーナ U-18

順位	選手名	チーム	得点	シュート数
1	内田 大登	エンフレンテ熊本U18	10	49
2	松田 隼	FOOTBOZE FUTSAL U-18	6	23
2	堀 光輝	宝塚フットサルクラブ U18	6	14
4	山西 静樹	龍谷富山高校	5	12
5	千野 慧太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4	21
5	村上 拓也	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4	26
5	南雲 颯太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4	17
5	原科 勇我	HeroFC U18F	4	29
5	木村 芳之	HeroFC U18F	4	56
5	原田 守久	PSTCロンドリーナ U-18	4	27
5	松左川 晴也	アリアンサ フットサルクラブ	4	15
12	横田 海斗	HeroFC U18F	3	12
12	杉山 朋哉	HeroFC U18F	3	3
12	西村 響	HeroFC U18F	3	4
12	守屋 光	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	3	19
12	金岡 俊哉	宝塚フットサルクラブ U18	3	11
12	宮崎 颯斗	龍谷富山高校	3	10
18	富吉 洸貴	FOOTBOZE FUTSAL U-18	2	4
18	山下 慶次	HeroFC U18F	2	8
18	森本 光輝	PSTCロンドリーナ U-18	2	14
18	成定 真生也	PSTCロンドリーナ U-18	2	6
18	草柳 祐介	PSTCロンドリーナ U-18	2	5
18	藤生 悠斗	PSTCロンドリーナ U-18	2	5
18	庵下 義樹	アリアンサ フットサルクラブ	2	4
18	児玉 秀斗	アリアンサ フットサルクラブ	2	7
18	西脇 拓歩	アリアンサ フットサルクラブ	2	7
18	千葉 慶大	アリアンサ フットサルクラブ	2	7
18	木下 涼太	アリアンサ フットサルクラブ	2	7
18	浦岡 颯	アリアンサ フットサルクラブ	2	29
18	吉田 将士	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	2	12
18	志村 岳	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	2	3
18	福田 佑樹	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	2	20
18	柴谷 雄太	龍谷富山高校	2	15
18	谷川 耀	龍谷富山高校	2	7
35	加山 直明	FOOTBOZE FUTSAL U-18	1	13
35	大野 大	FOOTBOZE FUTSAL U-18	1	7
35	茶碗谷 廉太郎	FOOTBOZE FUTSAL U-18	1	9
35	益田 知哉	HeroFC U18F	1	5
35	福井 来	HeroFC U18F	1	14
35	温 立丞	PSTCロンドリーナ U-18	1	7
35	三浦 慎太郎	PSTCロンドリーナ U-18	1	4
35	成澤 透	PSTCロンドリーナ U-18	1	10
35	上東 龍生	アリアンサ フットサルクラブ	1	5
35	大山 友雅	アリアンサ フットサルクラブ	1	4
35	宮田 政宗	エンフレンテ熊本U18	1	1
35	松本 孝太	エンフレンテ熊本U18	1	6
35	森山 翔馬	エンフレンテ熊本U18	1	3
35	平山 琳斗	エンフレンテ熊本U18	1	1
35	竹内 亜陽	日本ウェルネス高等学校 信州筑北	1	5
35	加藤 総一郎	宝塚フットサルクラブ U18	1	1
35	高橋 竣	宝塚フットサルクラブ U18	1	14
35	上野 祐亮	宝塚フットサルクラブ U18	1	3
35	小杉 翔輝	龍谷富山高校	1	3
35	土井 拓実	龍谷富山高校	1	2

FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都)

- 12-0 SEIRITZ A
- 6-2 ZOTT WASEDA JUVENIL
- 37-0 駿台学園フットサル同好会
- 7-1 東京成徳大学高校フットサル部
- 1-0 自由ヶ丘学園高校
- △ 2-2 府中アスレティックFC U-18
- 6-1 Futsal Club BUBBLE U-18
- 10-2 Futsal Club BUBBLE U-18
- 13-2 東京成徳大学高校フットサル部
- 16-1 SEIRITZ A
- 5-0 ZOTT WASEDA JUVENIL
- △ 1-1 府中アスレティックFC U-18
- 7-0 自由ヶ丘学園高校
- 13-1 駿台学園フットサル同好会

PSTCロンドリーナ U-18 (神奈川県)

- 8-0 湘南工科大学附属高校 B
- 2-0 アズヴェール藤沢U-18
- 2-4 エスタジオ横浜U-18
- 4-1 鶴嶺高校フットサル部
- 6-5 鶴見大学附属高校U-17
- 2-0 武相高校
- 12-1 など総合高校
- 17-2 ライオンズSCユース
- 2-1 PSTCロンドリーナセグンド
- 5-4 武相高校

龍谷富山高校 (富山県)

- 3-2 アレスグーテ砺波
- 4-4(PK3-2) 不二越工業高校

日本ウェルネス高校 (長野県)

- 17-0 松本深志高校
- 13-0 松本美須ヶ丘高校
- 16-2 蘇南高校
- 9-3 松本深志高校
- 11-2 松本美須ヶ丘高校
- 16-2 蘇南高校

HeroFC U18F (静岡県)

- 11-0 SENA.FC A
- 5-1 CRAQUES
- 7-1 有度フットボールクラブ / unite
- 14-1 伊東高校城ヶ崎分校
- 16-0 東海大翔洋高校フットサル同好会 B
- 20-1 浜松日体
- 2-0 アグレミーナ / エスパッソ

アリアンサフットサルクラブ (大阪府)

- 3-5 メッセ天下茶屋FC U-18
- 0-12 チームアウエル U-18
- 0-19 パスドゥーロ田辺 U-18
- 30-1 チームアウエル U-18

宝塚フットサルクラブ (兵庫県)

- 7-3 クラーク記念国際高校
- 8-4 神戸国際大学附属高校フットサル部
- 10-4 多田ハイグリーンフットサルクラブ
- 5-4 多田ハイグリーンフットサルクラブ
- △ 7-7 クラーク記念国際高校
- 3-2 神戸国際大学附属高校フットサル部

エンフレンテ熊本 (熊本県)

- △ 3-3 国府高校フットサル部
- 3-2 アマード熊本エンペラー
- 16-0 甲佐高校サッカー部
- 5-2 ガマダス
- 5-3 アルバランシア熊本
- 3-0 熊本高専
- 10-2 エンフレンテ熊本B
- 4-2 東海大星翔
- 7-3 勇志国際高校

(能3種動物を飼育)

HeroFCU18F初代王者

最後まで勝てると信じてプレーできました」。GK曾根は「みんなのおかげ」。福井、曾根、木村と山下、亀山の5人はU18県選抜。3月の全国大会(東京)で「2冠」を狙う。

U-18
フットサル
選手権大会

1次リーグで2-3で敗れ、
借りを返して頂点に立つた

20%以上の力が出せたと思ひます」と木村は胸を張

スポーツニッポン 2017年1月8日

地域中 (20)

た。
施設職員や保護者、

静岡市清水区の市し
みず社会福祉事業団は
19日、地域の子どもた
らや住民らを迎えた新
春恒例の餅つき大会を
同区駒形西の同事業団
施設で開いた。約37
人が集まり、交流し

静岡・志太榛原

で勝利し、雪辱を果た

で勝利し、雪辱を果たして頂点に立った。キャプテンの福井来さん（相模高3）は町長らに町役場を訪ねるとともにフットサルでの魅力を伝え、田村町長から祝福を受けた。

（榛原支局・佐藤章弘）

お餅つい

全日本ユース(U-18)フットサル大会

日本サッカー協会主催の大会として全国9地域で予選を開催。単独チームの世代No.1決定戦となっており、高校サッカー部の出場比率が高まっている。

主催: 公益財団法人 日本サッカー協会
協賛: ナイキ、ニチバン、明治

2014年 聖和学園FC(宮城) / 大田区総合体育館、墨田区総合体育館
2015年 岡山県作陽高校(岡山) / ゼビオアリーナ、仙台市体育館
2016年 帝京長岡高等学校(新潟) / ゼビオアリーナ、仙台市体育館
※年 / 優勝チーム / 会場

GAViC CUP ユースフットサル選抜トーナメント

2012年に「U-18フットサルトーナメント」として創設。2015年からは名称を変更し、全国9地域から選抜された12チームで大会が開催されている。

主催: 財団法人日本フットサル連盟、特定非営利活動法人サロン2002
後援: 公益財団法人 日本サッカー協会 ほか
特別協賛: GAViC(株式会社ロイヤル)

2012年 名古屋オーシャンズU-18(愛知) / オーシャンアリーナ
2013年 瀬戸内高校(広島) / オーシャンアリーナ
2014年 幕張総合高校(千葉) / 駒沢体育館
2015年 愛知県選抜U-18 / 墨田区総合体育館
2016年 U-18新潟県選抜 / 墨田区総合体育館

ホンダカップ フットサルフェスタ

1997年から開催されているフェスティバル大会に2010年からU-18カテゴリーを設定。関東・東海・関西で予選大会が開催されている。

主催: 産経新聞社
後援: 公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本フットサル連盟 ほか
特別協賛: 本田技研工業株式会社
会場: オーシャンアリーナ

2010年 名古屋オーシャンズU-18 / さくようフットサル部 / SEIRITZ
2011年 府中アスレティックFCユース / 作陽 Oito Soldados / FC岐阜 B
2012年 SAKUYO Nao admitem / 武相高校 / 岡崎学園高校フットサル部
2013年 クラーク記念国際高校 / 東京成徳大学高校フットサル同好会 / エスタジオ横浜
2014年 クラーク記念国際高校 / 湘南工科大学附属高校 / エスパッソ
2015年 SEIRITZ A / SAKUYO / ウエルネス高校 松本
2016年 フウガドールすみだファルコンズ / サントス サッカー ショップ / OKAYAMA SAKUYO
※それぞれ、優勝、準優勝、第3位

出場全チームの代表者に対してアンケートを実施。

<開催時期>

- | | |
|------------------|----|
| ①今回同様(1月初旬)を希望する | 7件 |
| ②その他の時期を希望する | 1件 |

(希望事項) 12月の中旬～下旬頃

<競技規定>

- | | |
|----------|----|
| ①特に問題なし | 7件 |
| ②変更を希望する | 1件 |

(希望事項) 開催地枠の設定

<その他問題点>

- | | |
|--------|----|
| ①特になし | 6件 |
| ②課題がある | 2件 |

(課題) ・交通費補助が出るとありがたいです。

・東京都U-18リーグに全日程を11月下旬には完了させ、順位を確定出来ればと思っています。

<リーグ> 所属するリーグの現状、課題、今後の展望などご記入ください。

・リーグ所属チームの競技レベルも年々レベルアップ出来ているので、さらに成長させていければと思っています。

・神奈川県は参加チームも多くレベルも上がってきています。さらにレベルアップ出来るようにしていきたいと思います。

サッカーとの兼ね合いもあるため難しいですが高校のサッカー部も積極的にフットサルを取り入れリーグに参加するようになればより良いものになるのではないかと思います。

・静岡県U-18リーグは、11年続くU-18FLで今後もチーム数が増えることが予想されます。東京オリンピックの影響で首都圏開催であった興業目的のイベントなどが地方の多く来る為、来年度は使用できる体育館やアリーナが大幅に減ることが分かっています。また、静岡県には競技フットサルができる体育館が多くありません。中でも静岡県U-18FLは、社会人FL戦が使用した後のリーグ戦開催であったり、1年間長くリーグ戦を行えず、半年で一気に消化するため、チーム練習する時間が短く、試合の時のみ集まるチームもあります。問題は多いです。

・毎年この大会にでれるように頑張ります。

・チーム数の増加が課題、試合数を多くし他県との交流戦も実施したい

・熊本県は6シーズン目を迎えました、チーム数は増えたり減ったりしていますが、ここ2シーズンは増加傾向にあります。参加資格のしほりもできるだけゆるくしてまずは参加者の増加を図ってます。今後1種リーグとも連携を取り、じわりじわりと運営を本格化できたらと思います。

＜その他＞ その他、自由に感想、ご意見をお書きください。

・素晴らしい環境での2日間のフットサル真剣勝負をスタッフ、選手、サポーター一同、楽しませて頂きました。来年度以降、オフィシャルな大会となり、この大会がU-18フットサルの真の日本一を決める大会となることを願っています。誠にありがとうございました。

・ユース年代の大会を整備していただいて非常に感謝しております。この年代の試合の機会がどんどん増えていて充実した環境になりつつあります。他の地域にも波及していければと思いますので、何かあればご協力させてください。ありがとうございました。

・サッカーとの兼ね合いもあるため難しいですが高校のサッカー部も積極的にフットサルを取り入れリーグに参加するようになればより良いものになるのではないかと思います。

・今回この大会に参加し、出場し優勝という輝かしい成績をおさめることができ、大会を企画、主催して頂いたサロン2002の皆様には本当に感謝しています。こういう大会があるかも知れないと聞いたのが7月くらいで、夏の全日本ユース(U-18)フットサル大会で予選ラウンド敗退の我がチームにとって、新たな目標に向かえる大会でした。練習も全員が集まれる時がなく、試合(リーグ戦)で合わせていくしかない戦が多く、リーグ戦も負けることが許されず、格下の相手でもチームで20点以上得点するなどのチーム目標や、フットサルの動きを理解していれば、得点は取れるはずと選手を叱咤激励し、12/11(日)、アグレミーナ/エスパッソとの決勝を何とか勝ち、出場が決まりました。大会参加もリーグ戦に出場しているチームで合併チームの出場が可能になったことも非常に大きく、中3の選手6名の登録は本当に素晴らしい案だったと思います。高校生の先輩達と中3の合併は普段から一緒に練習しているのでスムーズに融合しました。また中学生でこのような大会に出場できたことは、彼ら選手のこれからを変えるきっかけになったと思います。本当に良い生きた経験の場が今大会でした。

対戦チームも素晴らしいチームが多く、フェアプレー精神で最後まで一進一退の好ゲームが多く、どのチームが優勝してもおかしくなかったと思います。地元静岡開催で今川委員長、犬塚ユース委員長をはじめとする運営スタッフの皆様、東海や神奈川からご協力頂いた審判の皆様、ボールパーソン、の浜松日体中の選手達の協力やバックアップには本当に感謝しており、恥ずかしい試合はできないと選手に言い聞かせ、準決勝、決勝の素晴らしい試合に繋がったと思っています。本当に、この大会があり選手がさらに進化し成長し、最後まで諦めずに戦うことの勇気をもらいました。素晴らしい大会を企画、主催して頂いたサロン2002の皆様に感謝しかありません。また来年この舞台に立ち、活躍できるようにこれからも熱い熱意、情熱をこめて指導していきます。ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

・このU-18フットサルリーグチャンピオンズカップが今後も毎年開催を希望します。

・U18の指導者としては目標が出来て増々頑張れます。今後も継続してお願いいたします。

・この大会 があることは参加チーム 参加チーム のモチベーションになります。感謝 です！